

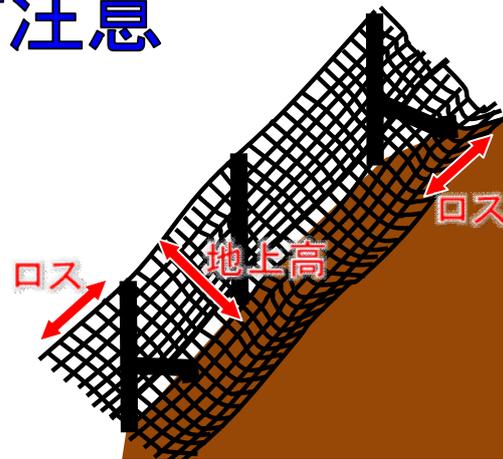
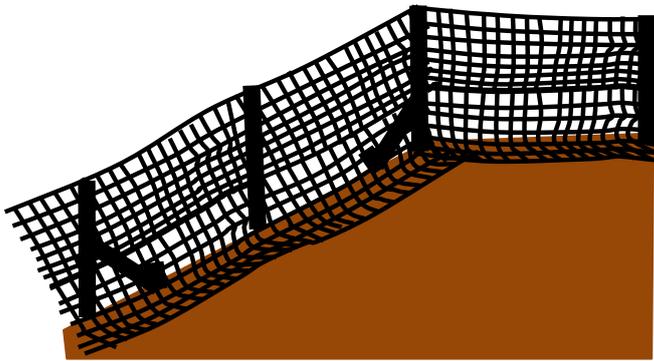
金網柵、傾斜地での設置

本資料は、金網柵(下網:大型亀甲金網、上網:ヒンジロック)を例に、傾斜地での設置の要点を補足することを目的としています。

各金網の詳しい設置方法は、下記の資料を御覧下さい。

- ・金網柵(格子金網)の設置手順
- ・金網柵(大型亀甲金網)の設置手順
- ・金網柵(大型亀甲金網+ヒンジロック)の設置手順

一、傾斜地での設置の諸注意



- 支柱は重力方向に打ち込む
- 傾斜角が変化すると、金網を切断し、傾斜に合わせて設置する
- 傾斜角の変化点には補助支柱を追加。

- 傾斜角が急になるほど、ロスが増える。
- 傾斜角が急になるほど、柵の地上高は低くなる。

二、支柱・補助支柱の設置



- 傾斜角の変化点に支柱を配置し打ち込む
- 傾斜角の変化点の支柱に、補助支柱を追加。

三、上網(格子金網)の設置



- 斜面上部から設置をはじめ
- 傾斜角の変化点の支柱を約2マス越えてから横線を切断する。
- 縦線を切除し、横線を支柱に回して固定。

四、上網(格子金網)の接合



- 次の網を追加し、網と網が重なり合う部分を、支柱から約2マス残して、切断する。

- 縦線を切断し、結束部を外す。
- 支柱を巻き込み、横線同士を固定。

六、下網(亀甲金網)の設置



七、下網(亀甲金網)の接合

- 下網も斜面上部から設置。
- 傾斜の変化点にある支柱を約3マス越えた部分から切断

- 次の網を追加
- 先に設置した網と3マス以上重なるようにして切断。
- 金網同士を金属線で縫い合わせる。

八、上網・下網の接合



十、支柱への固定



九、下張り線の設置

十一、アンカーの設置